

ごあいさつ



理事長
新井 ちとせ

「コープみらい サステナビリティレポート 2017」 発行にあたって

本レポートを手にとっていただき、ありがとうございます。

コープみらいは2016年度も引き続き、ビジョン2025「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。」の実現を目指し、事業と活動を通じてさまざまな取り組みを進めてきました。

“食卓を笑顔に”では、安全と安心を第一に、人と人とのつながりを大切に作られた産直商品や資源管理された農水畜産業・林業と提携して調達した環境配慮商品などの提供を通じて、持続可能な生産・消費の取り組みを進めました。“地域を豊かに”では、交流の場や助け合いの輪を広げ、誰もが安心していきいきと暮らせる地域づくりを進めました。今年5月、消費者庁から食育や環境問題について定期的に集まり話せる場の提供や千葉県、埼玉県、東京都の145の地方公共団体との高齢者等見守り協定の締結などの活動が評価され、「平成29年度消費者支援功労者表彰」における「ベスト消費者サポーター章」を受章することができました。

東日本大震災をはじめ熊本地震、北海道・岩手大雨被害など災害復興支援においては、多くの組合員が募金の取り組みに参加しました。また、地球温暖化防止対策として再生可能エネルギーの創出や調達に取り組み、「みらいにやさしいでんき」を選べる電気小売事業の準備を進めました。

2015年、“つづかない世界から、つづく世界へ”変えるため「SDGs（持続可能な開発目標）」が国連総会において全会一致で採択されました。そして、ICA（国際協同組合同盟）では「協同組合はSDGsを達成するのにふさわしい協力者」との声明を発表しています。また、昨年11月には協同組合が「共通の利益の実現のために協同組合を組織するという思想と実践」として、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。私たちのビジョン2025とSDGsは、基本的な考え方や取り組みの方向性は同じです。コープみらいのさまざまな取り組みは、国際社会が約束したSDGsにつながっています。

コープみらいは、“誰からも頼られる生協へ”の実現とSDGs 2030ゴール達成を目指し、これからも地域・社会に貢献してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。